

国語科 年間指導計画モデル（小学部1段階用）

児童の目標設定や学習活動の設定の参考にする。実態に応じて難易度や使用する教材・教具を変える。

国語科小学部1段階の目標（学習指導要領より抜粋）

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
・日常生活に必要な身近な言葉が分かり使うようになるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができるようにする。	・言葉をイメージしたり、言葉による関わりを受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができるようにする。	・言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。

年間指導計画（年間授業時数 105 時間で想定）

月	単元名 時数	主な単元目標 何ができるようになるか			学習指導要領内容	具体的な活動例
4月	なまえはなあに 12 時間	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等	知・技 ア(ア)(イ) イ(イ) 思・判・表 A イ C ア	『なまえはなあに』 ・遊び歌など、楽しい雰囲気の中で呼名活動を行い、実態に応じた方法で答える。その後、好きな関わり遊びを行う。
		呼名や繰り返し聞く言葉に気付く。	呼名に気付き、身近な大人と好きな関わりをすることができる。	呼名に身振りなどで返事をしたり、好きな関わりを求めたりすることができる。		『おはなしのくに1』 ・音楽に合わせて展開する絵本の読み聞かせやペーパースートをする。
		絵本などの読み聞かせを聞いたり、見たりする。	読み聞かせを聞き、言葉や絵に注目することができる。	繰り返すことで、読み聞かせに出てくる特定の言葉や絵にすずんで注目することができる。		
5月	からだあそび 12 時間	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等	知・技 ア(ア)(イ) イ(ア)(エ) 思・判・表 A アイウ C アイエ	『からだどこかな』、『〇〇たいそう』 ・遊び歌などによる教員との関わり遊びを通して、身体の部位を意識したり、動きの一部を模倣したりする。
		身体の部位を表す言葉が分かる。	身体の部位を表す言葉が分かり、教員の動きを模倣したり、教員と一緒に動きを示したりすることができる。	言葉に気付いて、指定された身体の部位を動かそうとしたり、模倣したりすることができる。		『おはなしのくに2』 ・絵本の展開に合わせて、手をパチパチ鳴らしたり、手を握ったり、具体物を入れ物に入れたりするなどして表現する。
		身体の部位を表す言葉や、「ゴシゴシ」、「パチパチ」など、動きを表す擬音語の言葉が分かる。	絵本の展開に合わせて、教員の促しで、言葉の意味に応じた動作で表現できる。	絵本の展開を期待して、言葉や動作で表現しようとする可以尝试。		
6・7月	うごきのあることば 18 時間	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等	知・技 ア(ア)(イ) イ(イ)(エ) 思・判・表 A アイ C アイウ	『まとあて』、『くりひろいゲーム』 ・「投げる」、「持つ」などの動作を表す言葉を聞いて、的あてや栗拾いゲームなどの簡単な動作を伴うゲーム性のある活動に取り組む。「始め」、「終わり」などの言葉で活動の終始が分かり、行動する。
		「投げる」、「持つ」などの動作を表す言葉や、「始め」、「終わり」などの終始の言葉が分かる。	「投げる」、「持つ」などの動作を表す言葉や、「始め」、「終わり」などが分かり、簡単な動作を伴うゲームに取り組むことができる。	動作を表す言葉や、活動の終始を表す言葉に気付き、行動に示すことができる。		『おはなしのくに3』 ・絵本の展開に合わせて、食べるまねや飲むまねをしたり、コップやスプーンなどの具体物を操作したりする。
		「食べる」、「飲む」などの言葉や日常生活で使用する物の用途が分かる。	「食べる」、「飲む」、「モグモグ」、「ゴクゴク」などの言葉に合わせて、動作で表現したり、具体物を操作したりすることができる。			

月	単元名 時数	主な単元目標 何ができるようになるか			学習指導要領内容	具体的な活動例
8・9月	えやもじで あそぼう 11 時間	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等	知・技 ア(ア)(イ) イ(ウ)(エ) 思・判・表 A アイ B アイ C アウ	『ことばぼっくす1』 ・箱から具体物（身近な道具や食べ物、動物など）や絵カードを取り出し、具体物や絵が表す事柄について、言葉や身振りで表現する。
		具体物や絵が表すことを教員と一緒に言葉や身振りで表現できる。 クレヨンやペンなど、好きな筆記具を使って書くことができる。	箱から具体物や絵カードを取り出し、言葉や身振りで表現できる。 クレヨンやペンなどを使って、自由に書いたり、線をなぞったりすることができる。	箱から取り出した具体物や絵に興味をもち、知っていることや学んだことを表現できる。 使いたい筆記具を選んで、すすんで書いたり、なぞったり、書いたものを意味付けたりすることができる。		『いろいろないるでかこう』 ・色の歌や擬態語（ぎざぎざ、なみなみ）に合わせて、好きな筆記具で書く。大きな画用紙やホワイトボードに書き、書くことに興味をもつことができるようにする。実態に応じて、絵と絵を線でつなげたり、書きやすい文字をなぞったりする。
10・11月	なにかな、 なにかな 18 時間	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等	知・技 ア(ア)(イ) イ(イ)(エ) 思・判・表 A アイ C アイ	『ことばぼっくす2』 ・箱から絵カードや写真カードを取り出したり、教員が提示した絵や写真カードから好きな活動を選択したりして、絵や写真が示す活動を行う。絵や写真を見て、指示された道具を児童が取る。
		具体物、絵や写真が示す事柄が分かる。 食べ物を表す言葉や食べ物の絵や写真が分かる。	絵や写真が表す事柄が分かり、活動に取り組んだり、絵や写真を見て指示された道具を準備したりすることができる。 食べ物を表す言葉や絵や写真が分かり、指示された食べ物カードを動物の口に運ぶことができる。	絵や写真が表す事柄が分かり、好きな活動を選んだり、絵や写真を見てすすんで必要な道具を準備したりすることができる。 食べ物を表す言葉や食べ物の絵や写真を見て、すすんで言葉や身振りで表現できる。		『ごはんですよ』 ・いろいろな食べ物の名前を知ることができる絵本を読んだ後に、「動物の口に食べ物を運ぶ」などの活動を行う。実物、模型、絵、写真を使用する。
12・1月	わらべうたで あそぼう 16 時間	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等	知・技 ア(ア)(イ) イ(ア)(イ) (エ) 思・判・表 A アイウ B ア C アイウエ	わらべ歌遊び 『もちつき』、『あんたがたどこさ』など ・わらべ歌のリズムに合わせて、友達や教員とやり取りしながら感覚遊びを行う。柔らかい素材のものをベタベタと手や道具でついたり、バランスボールの上ではずんだりする。
		わらべ歌や昔話の言葉のもつ音やリズムに触れる。 絵本などの読み聞かせを聞き、好きな絵本や場面を見付ける。	言葉のもつ音やリズムに触れ、言葉や音声、身振りで表現できる。 絵本などの読み聞かせを聞き、登場人物の言葉や動きを模倣して表現できる。	わらべ歌や昔話の言葉のもつ音やリズムに触れ、自ら言葉や音声、身振りで表現したり、期待して聞いたりすることができる。 次の場面を楽しみにしたり、思いを表現しながら絵本の読み聞かせを聞いたり、登場人物の言葉や動きを表現したりすることができる。		『おはなしのくに4』 ・展開や山場が分かりやすい絵本、まねしやすい言葉がある絵本の読み聞かせを行う。
2・3月	ふりかえりを しよう 18 時間	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等	知・技 ア(ア)(イ) イ(イ) 思・判・表 A イウ B ア C イウエ	『どれにする？』 ・4月から取り組んだ活動で、児童が意欲的に活動していた活動を行う。 ・児童が具体物や写真などから、好きな活動を選んで行う。
		絵や写真が表している事柄や言葉や身振りなどで思いを伝える方法が分かる。	絵や写真が表している事柄が分かり、好きな活動を選んで、伝えることができる。	絵や写真が表している事柄が分かり、思いを言葉や身振りですすんで表現できる。		